



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 浜井産業株式会社

コード番号 6131 URL <http://www.hamai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武藤 公明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 山畑 喜義

TEL 03-3491-0131

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,175	△24.9	△80	—	△91	—	△42	—
23年3月期第1四半期	1,564	162.1	103	—	97	—	34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1.31	—
23年3月期第1四半期	1.06	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,246	—	3,154	—	34.1	—
23年3月期	9,194	—	3,286	—	35.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,154百万円 23年3月期 3,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)24年3月期の期末配当予想は、未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	△35.7	255	△51.0	230	△54.0	140	△43.6	4.31
通期	8,000	△2.5	680	△3.6	620	△5.8	370	△13.8	11.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	32,624,000 株	23年3月期	32,624,000 株
24年3月期1Q	171,351 株	23年3月期	170,844 株
24年3月期1Q	32,452,689 株	23年3月期1Q	32,509,519 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 24年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

今後の業績動向などを勘案し、配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第1四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア地域の経済成長に伴う輸出の増加による緩やかな回復基調から、3月に発生した東日本大震災とそれに付随する福島第一原発の事故を境に、景気の先行きは極めて不透明な状況になりつつあります。

さらに、電力使用量の削減要請や直近の急激な円高が、国内の製造メーカーや輸出企業の生産ならびに販売に対して、大きな影響を与えつつあります。

このような厳しい経営環境の下、当社は、主要顧客であります情報通信分野を中心に電子・電機関連業界への販売に注力してまいりました。

結果として、当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,175百万円(前年同四半期比24.9%減)、営業損失は80百万円(前年同四半期は営業利益103百万円)、経常損失は91百万円(前年同四半期は経常利益97百万円)、四半期純損失は42百万円(前年同四半期は四半期純利益34百万円)となりました。

なお、セグメント別では、当社は、1工場、工作機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

①ラップ盤

300ミリ径半導体シリコンウエーハ向および水晶部品加工向等の売上は増加したものの、デジタル家電向各種ガラス基板加工機への新規設備投資が市場の需給関係から一息ついた状態となり、売上高は478百万円(前年同四半期比53.2%減)に留まりました。

②ホブ盤、フライス盤、レンズ加工機

国内でのホブ盤とフライス盤の売上に加え、東アジア地域への小型モーター・二輪車・釣具そして電動工具部品加工用のホブ盤の売上が寄与し、レンズ加工機も加わったことによりさらに売上が伸び、売上高は382百万円(前年同四半期比90.8%増)となりました。

③CMP・CMG

半導体メーカーの設備投資意欲の高まりはあるものの、具体的に受注として実現せず、売上高は3百万円(前年同四半期比84.5%増)に留まりました。

④部品、歯車

半導体市場、およびデジタル家電市場での消耗部品販売の需給に大きな変動はなく、売上はやや軟調に推移し、売上高は310百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は5,183百万円で、前事業年度末に比べ99百万円増加しております。たな卸資産の増加148百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は4,063百万円で、前事業年度末に比べ46百万円減少しております。有形固定資産の減少35百万円、市場価格の下落による投資有価証券の減少12百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は3,987百万円で、前事業年度末に比べ109百万円減少しております。支払手形及び買掛金の仕入債務の減少248百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は2,104百万円で、前事業年度末に比べ292百万円増加しております。長期借入金の増加306百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は3,154百万円で、前事業年度末に比べ131百万円減少しております。主に剰余金の配当により利益剰余金が123百万円減少しております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内の景気の見通しにつきましては、政府の震災対策等の経済諸施策が実行に移され、個人消費を中心とした回復が期待されておりますが、急激な円高による輸出企業の業績低迷と、電力使用量の削減要請による生産制約要因といったマイナス面の事象もあり、依然として経済環境は先行き不透明な状況で推移すると予想されます。

当第1四半期累計期間における業績結果につきましては、当社主要顧客の設備投資計画が、市場の需給状況等から慎重に検討された結果、やや実施を遅らせている結果と見ております。

したがって、業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の業績予想に現時点では変更ありません。

当事業年度(平成24年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高8,000百万円、営業利益680百万円、経常利益620百万円、当期純利益370百万円を見込んでおります。

ただし、東日本大震災による日本経済への影響を鑑み、経営環境がさらに悪化した場合等、業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,250,623	1,303,146
受取手形及び売掛金	1,737,395	1,730,188
商品及び製品	55,707	30,824
仕掛品	1,511,537	1,686,935
原材料及び貯蔵品	108,725	106,692
その他	420,229	325,629
流動資産合計	5,084,218	5,183,417
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	945,902	931,417
土地	2,276,497	2,276,497
その他(純額)	444,389	423,369
有形固定資産合計	3,666,790	3,631,284
無形固定資産	3,036	2,886
投資その他の資産		
投資有価証券	187,524	174,549
その他	266,916	271,050
貸倒引当金	△14,108	△16,496
投資その他の資産合計	440,332	429,103
固定資産合計	4,110,159	4,063,275
資産合計	9,194,378	9,246,692
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881,211	1,632,659
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,215,992	1,370,992
未払法人税等	142,108	2,900
製品保証引当金	51,970	68,690
その他	604,935	711,935
流動負債合計	4,096,217	3,987,178
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	784,680	1,090,682
退職給付引当金	469,234	455,991
資産除去債務	27,562	27,687
その他	30,294	30,294
固定負債合計	1,811,771	2,104,654
負債合計	5,907,988	6,091,833

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,050,186	2,050,186
利益剰余金	1,211,878	1,088,367
自己株式	△27,283	△27,348
株主資本合計	3,234,780	3,111,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,991	47,039
繰延ヘッジ損益	△3,382	△3,384
評価・換算差額等合計	51,608	43,654
純資産合計	3,286,389	3,154,859
負債純資産合計	9,194,378	9,246,692

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,564,173	1,175,059
売上原価	1,281,135	1,060,920
売上総利益	283,038	114,138
販売費及び一般管理費		
販売手数料	7,555	13,258
荷造運搬費	15,849	15,717
役員報酬	22,664	30,446
従業員給料	33,305	35,738
従業員賞与	14,233	9,889
退職給付費用	4,273	5,124
その他	81,713	84,295
販売費及び一般管理費合計	179,595	194,470
営業利益又は営業損失(△)	103,442	△80,331
営業外収益		
受取利息	39	23
受取配当金	1,038	1,851
その他	8,425	4,381
営業外収益合計	9,502	6,256
営業外費用		
支払利息	12,274	12,548
為替差損	2,689	3,868
その他	282	1,453
営業外費用合計	15,247	17,871
経常利益又は経常損失(△)	97,697	△91,946
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	1,239	4
会員権評価損	—	2,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,684	—
特別損失合計	14,924	2,404
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	82,785	△94,350
法人税、住民税及び事業税	1,523	1,523
法人税等調整額	46,857	△53,496
法人税等合計	48,380	△51,973
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,404	△42,377

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

- ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

- ①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ②報告セグメントごとの資産に関する情報
 該当事項はありません。
- ③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
 当社は、単一セグメントのため、記載を省略しております。
- ④報告セグメントの変更等に関する事項
 該当事項はありません。
- ⑤報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。